

安住寺だより



禅の心

第 155 号

発行 安住寺（年4回発行）
臨済宗南禅寺派
大分県杵築市大字南杵築379
〒873-0002 TEL 0978-62-2680
URL <http://www.anjyuji.net>
編集 矢野明玄
印刷 安住寺コピー室

平成 28 年 棚経日程

八 月	8日	月	南台、丸尾、茅場、安岐大添、守江、猪尾
	9日	火	魚町、本町、谷町、中尾、本村、宇佐市、大分市
	10日	水	杉山、札ノ辻、永代橋、西大内山全戸
	11日	木	錦江、西新町、東大内山上
	12日	金	弓町、新町、広小路、城鼻、錦城、北浜 東大内山下、東大内山中、新興
	13日	土	迫上、迫下、国東町、安岐瀬戸田、日出町全戸
	14日	日	下原、下下司、宗近、煙硝倉、祇園、守末 中ノ原、鴨川、中平、下本庄
	15日	月	古野、西上、北台、菊本、須賀、桃山、別府市

今年の棚経日程は上記のとおりです。初盆供養や仏事もありますので、時間のお約束はできません。もし、ご不在とかで都合の悪いときは、お早めにご連絡下さい。出来る範囲で調整いたします。詳細は、8月3日の施食会の日にお知らせします。



広島・原爆被災者の慰霊碑

人類は永遠に平和を
享受できないのか？

平和への祈りは信仰の基礎

閑栖

「すべての偉大な宗教は、愛や平和、公正さにいたる道を説いていますが、どの宗教も信仰の名のもとに人を殺す信者を抱えることを避けられません。」と語りました。オバマ大統領は、テロ行為を繰り返すIS（イスラミックスステート）の狂気集団のことを糾弾したかったと思うが、純粋な宗教信者であれば人殺しを正当化できる筈はない。精神が麻痺しているしか捉えようがない。他を認めない一神教の恐ろしさでもある。真の宗教は生命を大切にし、常に平和を祈ることが基礎にあらねばならない。

熊本地震と水害に遭われた方々へ
本年四月の大地震により、熊本県益城町、大分県由布市を中心に大変な被害が発生しました。加えて水害も発生しています。心からのお見舞いを申し上げます。

熊本地震と水害に遭われた方々へ

お参りの方は、おとぎの時間を決めてお知らせ下さい。（地区世話人経由）

おとき 九時と十一時半より

八月三日（水）八時より法要

施食会（おせがき）

七月一日ダッカで痛ましい犠牲者が出てしまった。ISを名乗るバンダラデシユの若者による犯行で二十名の外国人が殺された。その中には、バンダラデシユの国のために働いていた日本人七名が含まれていた。いたたまれない気持ちで一杯であり、只々ご冥福をお祈り申し上げます。五月に主要七か国による伊勢志摩サミットが開催された。終了後、現職の米国大統領として初めてオバマ氏が広島を訪れ、原爆慰霊碑に献花し黙とうした。その後、参列者を前に演説。

南禅会本部女子研修に参加して

西下司 清末玲子

三月の安住寺だよりに「いっお寺に参るん?…」歩いて来られるほど近くに住んでいてもお寺の行事にまだ一度も出席したことがない方がいる」とありました。私のことだ!と思っていたところ、今年お世話役が回ってきたのです。

これを機に、四月の総会で、お寺デビューをしました。お寺の温かい雰囲気と素晴らしい法話に魅了され、仏教について勉強したいと思いつしよに研修を申し込みました。



二泊三日の研修会で私が一番心に残ったことは、蓮沼総長様の法話です。「月は太陽の光を受けて、その光を自分だけが吸収しないで、平等にすべてを照らす」それは「他の幸せのために生きる」こと。私は自分の幸せを求めるだけの小さな器

でしかないことに気づきました。

夜の座談会に蓮沼総長様がおみえになったので、南禅寺の三つの教えについて、具体的に毎日の生活の中でどう生かしていけばよいのか質問させていただきました。

答えの一つ「不離当処」は、昨日のことをよくよするな、未来のことを思い悩むな、大事なものはひととき、ひとときを「一所懸命」生きる「一所懸命」とは点であり点と点がつながって「一生懸命」になる。

二つ目「利他の行」は、他を救うことが自分を救うこと、自分の行いは、ブーメランのように自分に返ってくる。自分に間に合わなければ、子々孫々に返ってくる。

三つ目「利生の悲願」は、いただいた命を食べ尽す、犠牲になった命の分まで生きていく。

南禅寺の教えとは、「動物植物の命によって生かされ、周りの方々のおかげによって生かされている、このことに感謝をしながら、他の幸せのために実践し、一所懸命をつなげて、一生懸命に生きる」ということだと理解しました。

しかし、このように日々過ごすことは、大変な努力を要すると思えます。南禅寺派の和尚様方の偉大さを

改めて感じました。

その他の研修においても——初心を貫き通す大切さを学んだ中村管長様の法話——周りの方々への感謝が足りなかったことを懺悔させていただいた灯明会——愛別離苦の思いに寄り添い、生きている人に仕えるように供養することを学んだ追善供養御和讃の御詠歌——自分の心の悪念を一本一本抜くように取り組んだ草取りの作務——心が空っぽになってひたすら筆を走らせた写経会——これまでの人生の中では体験できなかった貴重な時間を過ごさせていただきました。

また、南禅寺敷地内のお寺拝観や塔所参拝では、社会や美術の教科書で見た仏塔や仏像、仏画の数々、水彩画や水墨画、版画、書や掛け軸等々：「いついつい見入ってしまい「次に行きますよ。」と何度も声をかけられてしまいました。

さらに、感激したことが二つありました。一つは、草取りの作務をしていた時、側で作業をしていた和尚様が「どこからですか?」と言うので「大分です。」と言うと「安住寺を知っていますか?」と尋ねられ、「安住寺から来ました!」と答えると、その和尚様は明玄和尚様の後輩

で一緒に修行をされたとのこと。明玄和尚様は何でもできて苦手なところがなく、一番尊敬している先輩だとおっしゃっていました。晋山式の時に安住寺にいらしたそうです。

もう一つは、南禅会館の方に「帰ってお寺の新聞に原稿を書くのでこの感想文をコピーしていただけますか?」とお願いしたのです。すると、お寺の名前を見て「ああ、安住寺さんですね。ずっとお便りを出されていますものね。」と快くコピーしていただきました。



今回の研修で、身近にいらつしやる閑栖和尚様と明玄和尚様が特別に慕われている和尚様であることや、当たり前のように読んでいる安住寺だよりがとても貴重なお便りであることを再確認しました。

今回の研修は、見るもの聴くことが何らかも初めてで、衝撃的な三日間でした。これからは、周りの方々への感謝を忘れず、皆さんが喜ばれることを少しずつ実践していき、お寺の行事にもできる限り参加したいと思っています。ありがとうございました。

《言葉を正す》

某政治家の、政治資金私的流用の問題で、その政治家の謝罪の言葉が足りず、お粗末であったことから、メディアも世論も炎上し、とうとう辞任となった。

次の首長選では五十億円近い税金が必要だという。震災復興に充てられたらと考えてしまう。

問題の本質は謝罪の方法ではないが、「口は災いの元」というように、言葉によって起る問題は多い。仏教では、十善戒といって「なすべき良い十の戒め」がある。その中で言葉に関する善い行いが四つある。不妄語(ふもうご) 嘘をつかない。不綺語(ふきご) 中身の無い言葉話を話さない。不悪口(ふあくぐち) 乱暴な言葉を使わない。不両舌(ふりょうぜつ) 他人を仲違いさせるようなことを言わない。

古くから言葉によって問題が起こり、いかに言葉を大切に仏教が捉えてきたかがよく分かる。

仏事等で、檀家のお宅を訪問するが、家族の皆さんが慎み深く、優しい言葉を話される。ご家庭がたくさんある。正しい言葉は、一瞬にして身に付くものではありません。幼い

時から、幾度も語りかけられた、愛情や思いやりのある言葉が、むけられた者自身の言葉となる。

言葉は意識から発せられるものである。自己を慎み、他を慮り、心を正しく整える努力を続けてこられたご家庭だからこそ、優しい言葉に溢れる。

言葉を正し、磨いていくことも、日々の仏道修行の実践である。

南禅寺合同得度式】

四月四日五日の予定で、本山にて合同得度式が執り行われ、南禅寺派の末寺のお弟子さんが、十余名参加しました。



前日の予行演習では、参加者の中で最年少であった、次男三男の二人がぐずり当日が心配でしたが、荘厳さからか、何とか一時間の儀式をつ

とめてくれました。

中村文峰管長様からは、小僧さんの仲間入りをしたからには、怠けず、サボらず、一生懸命修行してください。ご自身が七十年近く前に山口県洞春寺 毛利家の菩提寺の中村泰祐老師に就き得度された時のお話をしてくださいました。

あと二、三年もすれば次男玄武(ひろたけ)、三男玄朗(ひろあき)も、棚経や行事にお勤めさせていただきますことになる。

ご指導ご法愛を賜りますようお願いいたします。

寺報と一緒に配りいたしました南禅誌「冒頭に、得度に関して、管長猥下が詳しく書かれております。あわせてお読みください。

お譲り致します

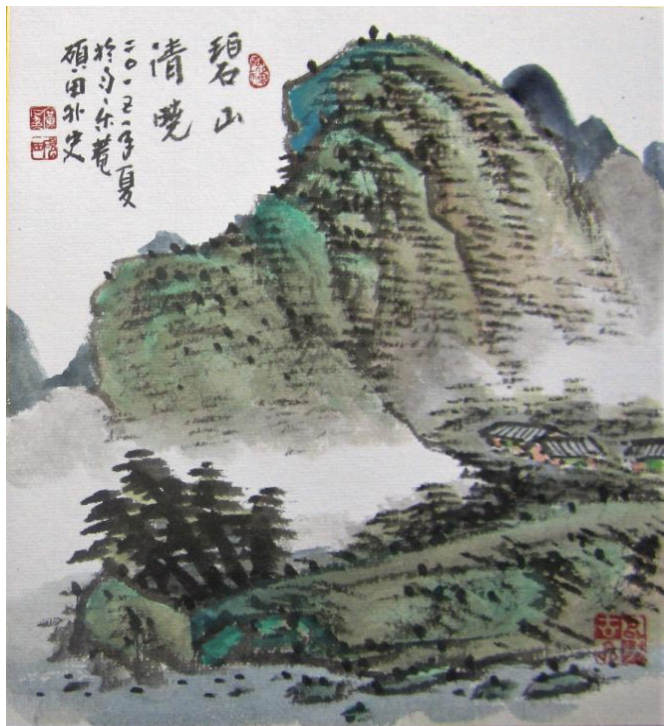


サンプル写真

市内檀家の方から、電動四輪車を無料でお譲りしたいと、お申し出がありました。必要な方がありましたら、お寺までご連絡ください。

【日々是好日】

●梅雨の雨が上がり、うだる様な暑さ。関東では渇水が酷いようで、今年の夏は心配でなりません。●三月二十六日、木付親重公の毎歳忌法要が、木付家累代三戸の当主の方とお勤めいたしました。●四月五日、ご報告のように本山で得度式を執り行いました。●四月二十三日・合掌会総会五月二十四日・世話人引継会で、合掌会は廣石美枝子新会長に、各地区でもお世話人さんの交代となりました。何かとご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。●六月二十五日、大分市白木の龍雲寺様の先住五十年・先住三十三年法要が営まれました。遺徳を偲びたくさんの和尚様がお参りました。●今年の棚経も長男・長女がお参りいたします。長男には、地図と名簿を渡しておりますが、まだ不慣れです。ご協力お願いいたします。●八月三日の山門施食会には、皆様方のお参りを、お待ちしております。●八月二十五日に大分市當陽寺にて臨済宗青年層の会主催「寺子屋」が開催されます。参加希望の方がいましたら、お尋ねください。



廣石碩田先生筆

ご希望の方に差し上げます。お申し出下さい。

詩

蜂と神さま

金子みすゞ



蜂はお花のなかに
お花はお庭のなかに
お庭は土塀のなかに
土塀は町のなかに
町は日本のなかに
日本は世界のなかに
世界は神さまのなかに
そうして、そうして
神さまは
小さな蜂のなかに

今年	初盆会	を迎える方々。	
石 堂 重 男 様	71歳	宗	近
城 正 勝 様	82歳	古	野
阿 部 春 巳 様	87歳	東	下 司
古 庄 ノ ブ 子 様	93歳	安	岐 町
熊 澤 武 次 郎 様	96歳	下	原
清 末 フ サ 子 様	95歳	西	下 司
林 善 信 様	87歳	宗	近
梶 取 久 様	91歳	別	府 市
須 賀 春 信 様	77歳	西	下 司
池 山 治 郎 様	67歳	北	九 州 市
前 田 義 美 様	92歳	錦	江
木 元 ツ ヤ 子 様	93歳	北	浜
国 広 美 沙 子 様	84歳	日	出 町
矢 野 周 治 様	67歳	西	下 司
渡 邊 富 美 子 様	66歳	別	府 市
西 田 美 子 様	81歳	原	北
小 田 原 房 江 様	94歳	西	上
江 藤 栄 利 子 様	63歳	東	大 内 山
亀 岡 ス ミ 子 様	87歳	南	台 西
工 藤 智 久 様	76歳	西	下 司
小 川 健 治 様	78歳	南	台 東
河 野 シ ヅ 子 様	99歳	安	岐 町
上記の方々が本年初盆会を迎えます。 檀信徒の皆様と共に、謹んでご冥福を お祈り申し上げます。			

回向文

について 閑 栖

仏事・法要の際に「回向文」を最後に唱えます。年忌法要ですと「いつ、誰の何回忌で何々をお供えし、何経を読み祈りの文句で結び」ます。結びの文言は次のとおりです。
十方三世一切諸仏 諸尊菩薩 摩訶薩 摩訶般若波羅蜜 意味『過去、現在、未来に遍満する諸仏・諸菩薩、大いなる修行者の一切の智慧の成就を祈ります。』お盆の回向は次のような文言を加えます。
『それぞれ幾たびも生死を繰り返す境涯にある父母や、いつまでも恨みを残す親族、すべての幽冥界にさまよう靈魂死後に餓鬼の世界に陥った諸靈に回向し、みな迷いの世界から出て、等しくすべてが仏道の悟りへの道に入りますように』です。「あの世」のことは、想像するだけですがこの世と違うことは予想できません。だから「全てが救われるように」と、仏教徒としては祈らずには居れないのです。

護持会費
墓地管理料のお願い

七、八月は、護持会費と境内墓地管理料の納付時期となっています。お忘れなく納入されます様、よろしくお願い致します。

市内の方は、地区世話人を通じて、市外の方は郵便振替をご利用下さい。



行事予定

八月三日・山門施食会

九月下旬・敬老会

八月中・写経・坐禅・詠歌休み

坐禅会 ・毎月第二・第四土曜 午前六時より

坐禅会 9/10
9/24 10/8
10/22 11/12
11/26 12/10

写経 9/21
10/21 11/24

ご詠歌 9/16
10/7 10/17
11/7 11/17
12/8